

議事概要

作成者：JR 東日本 千葉市

件名	第2回 土気踏切勉強会		
会議年月日	2022年6月18日(土) 10時00分～11時00分	場所	土気踏切
主催者	千葉市・JR千葉支社		
出席者	千葉市道路計画課、JR東日本千葉支社保線課 土気地区町内自治会連絡協議会、土気町内会、あすみが丘東自治会、 土気本町1組町内会、山の谷自治会、楓台自治会、梅ヶ丘自治会、 土気南中央町内会		
打合せ内容			
1 開会挨拶 2 議事 (1) 踏切事故の概要等について (2) 特設掲示板の設置について			
<hr/>			
(1) 踏切事故の概要等について			
<ul style="list-style-type: none">・列車運転士の証言によると、踏切から100m～150m手前で踏切内に停車している車を発見し急ブレーキをかけたが、間に合わず衝突した。・土気踏切はR=600mの曲線半径であり、列車から踏切の見通し距離は、上り線が140m、下り線は360m程度であり、上り線が視認しづらい状況である。・また、踏切の非常停止ボタンが押されると特殊信号発光機が赤くなる仕組みだが、事故当時は信号が赤くはなっていなかったという運転士の証言から、非常停止ボタンは押されていないと推測される。押された形跡もなかった。			
【地元からの意見】			
<ul style="list-style-type: none">・通行制限は市とJRどちらが行っているのか。・事故前と現時点では、踏切はどのように変わったのか。			
【市・JRからの所見】			
<ul style="list-style-type: none">・道路管理者(千葉市)、鉄道事業者(JR)が協議を行い、自動車の通行を制限した。千葉市またはJRのいずれか一方で通行制限することはできない。・事故後、千葉市、JR、警察で立会いを行い、周辺の自治会に回覧でお知らせした上で、12月に規制杭を設置した。・黄色い落輪防止壁は事故で破損したため修繕した。マクラギやレールは変わっていない。			
<hr/>			
(2) 特設掲示板の設置について			
【地元からの意見】			
<ul style="list-style-type: none">・個人の掲示物を貼ることは可能か。・掲示板に問い合わせ先を表示してほしい。・掲示板の内容は、携帯からも見ることができるのか。			
【市・JRからの所見】			
<ul style="list-style-type: none">・特設掲示板は、踏切の北側に横2m縦1mの大きさに設置することを提案。 (特に意見なく了承)・特設掲示板は、勉強会の内容等を踏切利用者などに広くお知らせするものであることから、個人の掲示物を貼ることはできない。・問い合わせ先を表示する。			

- ・市ホームページに公開し、スマホなどから見られるよう検討したい。
- ・通行制限の立て看板は、一定期間経過したので特設掲示板の設置に合わせて撤去したい。
(特に意見なく了承)

(3) その他

【地元からの意見】

- ・踏切に点字ブロックを設置していく内容の新聞記事があったが土気踏切でも設置するのか。
- ・土気踏切を使用しないで線路を横断できる場所はどこか。
- ・大網街道はU字溝の上を通ることになり危なく、高齢者が歩くには大変な道である。
- ・踏切道はアスファルト舗装の補修や、木の部分をコンクリートにし、スロープも緩やかにして、バリアフリーにすべき。
- ・我々が80、90歳になったら、杖や車いすで大網街道を歩けるとは思わない。大網街道が安全であればいいが、廃止されると買い物難民になる。
- ・廃止を決めるのは皆で話してからではないのか。
- ・今度の勉強会では大網街道を皆で歩くのはどうか。
- ・踏切のメンテナンスにどの程度費用を要しているのか示してほしい。
- ・アンダーパスにした際、どの程度予算が必要か、示してほしい。

【市・JRからの所見】

- ・視覚障がい者の踏切事故もあったことは承知している。点字ブロックを一斉に設置できるわけではないので、必要性を踏まえ優先順位をつけながら設置検討していく。
- ・土気駅方面には、市民センター前の寿橋、大網側には、トンネルの上部に生活道路があり線路を横断できる。
- ・交通量調査を2回実施したが、その時に踏切が鳴り始めてから列車通過までの時間も観測した。上りが約40秒、下りが約2分程度であった。何かあったらこの間に、非常停止ボタンを押さないといけないという点ではリスクがあると考えている。
- ・皆様の安全を第一に考え、通行実態や踏切の状況から、廃止の方針を示したが、さまざまなご意見があることは承知している。勉強会では、踏切利用者のニーズの再確認や、ご意見いただいた大網街道などの、う回路の状況を1つ1つ確認していきたい。
- ・大網街道については、次回以降、現地診断を行いたいと考えている。
- ・踏切内で何かあったら、人の命に関わるので迷わず非常ボタンを押していただきたい。1人の時に踏切内で何かあった場合(他の人がいない場合)に非常ボタンが押されないリスクについても認識していただきたい。

(4) 通行人からのご意見

【地元からの意見】

- ・日々通る道であり、廃止されると困る。
- ・そもそも規制杭設置による自動車の通行制限がしてあれば事故は起きなかったのではないか。

【市・JRからの所見】

- ・地元の方が様々なご意見を持っていることは承知している。
- ・今後、踏切を利用されている方のニーズを確認のための実態調査をしていきたい。

以上